

令和2年度第2回天童市総合教育会議

日 時 令和3年3月23日(火)
午後2時30分から
場 所 市立天童中部小学校

次 第

1 開会

2 あいさつ

3 協議・調整事項

(1) 教育大綱に基づく令和3年度の教育方針について

(2) 小学校におけるタブレット端末及び学習用ソフトの活用について

(3) その他

4 閉会

令和3年度の教育方針

天童市教育委員会 教育長 相澤 一彦

1 基底とする見方・考え方

よりよい児童生徒を育てることは、同時によりよい市民を育てることであるという視点を基底に、様々な施策、活動に取り組む。

児童生徒は、一人一人が大切にされることで、周りを大切にし、意欲的に学習をはじめとする様々なことに取り組む。その際、自ら課題を見つけ、問いを立て、論理的に考え、表現する知性を育てるとともに、心身の健康を保持して人間性の伸長に努め、生活の場所である地域や郷土に愛着と誇りを持ち、大切にしたり、貢献するという姿勢を育むようにする。そのことは、生涯教育の振興にもつながり、街づくりの一環となると考える。

2 一人ひとりを大切にする教育

- (1) 命を大切にした安全・安心な教育環境の維持
新型コロナウイルス感染予防と危機意識の醸成
- (2) 生徒理解、教育的ニーズに応じた教育の充実
特別支援教育の視点が生かされ、多様性が尊重される教育
- (3) 生きる力を育てる、いじめや不登校等生徒指導の充実
S S W有効な活用、これまでの体制の維持と充実

だれもが安心でき、認め合う、希望が持てる教育

3 深い学びにつながる知性を育む教育（学力向上の保障）

- (1) 学びの視点を明確にした指導
根拠を明らかにして論理的に考え、伝える力の育成
- (2) 学習の保障と深い学びを約束する教師の指導力の向上
I C T機器の活用と指導力の向上を保障する体制や研修

- (3) 新しい教育（特に ICT、英語教育）の方法や領域の充実
重点化して取り組むとともに実践の公開と検証

次代を生き抜く知恵と技能を身に付け、実践力を伸ばせる教育

4 郷土を担う人づくりの教育

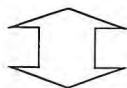
- (1) 郷土を知り、郷土との関わりを育む学校教育
開かれた教育課程の充実、「市民科副読本」編集・完成
- (2) 公民館活動や地域活動、PTA活動等を充実させる支援
ボランティア活動の推進
- (3) 地域を理解し、自分で災害に対応できる力を育む教育
地域の特性を理解し、災害への対応力を育てる教育課程

郷土の理解と関わりが深められ、つながって生きる力を育てる教育



天童の教育 三つの柱と六つの重点

- 1 一人ひとりを大切にする教育 ⇨ 新型コロナ対応と多様性の尊重
- 2 学びに向かう力を育む教育 ⇨ 学力の向上と、ICTの活用
- 3 郷土を担う人づくりの教育 ⇨ ふるさと学習と災害への対応




目指す天童市の子供像

未来を描き、問いを立て 解決・創造する子供

- ・未来を描く＝郷土の誇りを持ちながら、将来の自分を想像、努力する
- ・問いを立てる＝課題や疑問、何が問題なのか等に向き合い、認識する
- ・解決・創造する＝問いの解決や創造に向かって様々な手立てを講じる


令和2年度第2回天童市総合教育会議 3月19日




令和3年度の教育方針

～次代を創造する市民を育てる教育(学校教育を核に)～


天童市教育委員会 相澤 一彦




1 基底とする見方・考え方




- ・ よりよい児童生徒を育てることは、同時によりよい市民を育てることであるという視点を基底に、様々な施策、活動に取り組む。
- ・ 児童生徒は、一人一人が大切にされることで、周りを大切にし、意欲的に学習をはじめとする様々なことに取り組む。




1 基底とする見方・考え方




- ・ その際、自ら課題を見つけ、問いを立て、論理的に考え、表現する知性を育てるとともに、心身の健康を保持して人間性の伸長に努め、生活の場所である地域や郷土に愛着と誇りを持ち、大切にしたり、貢献するという姿勢を育むようにする。
- ・ そのことは、生涯教育の振興にもつながり、街づくりの一環となると考える。




2 背景にある見方・考え方



- ・ ○中央教育審議会令和3年1月26日『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びの実現～(答申) より
- ・ 「日本型学校教育」学校が学習指導のみならず、生徒指導等でも主要な役割を担い、様々な場面を通じて、児童生徒の状況を総合的に把握して教師が指導を行うことで、子どもたちの知・徳・体を一体で育む教育




2 背景にある見方・考え方




- ・ 「令和の日本型学校教育」の構築 より
- ・ ①学習機会と学力の保障
- ・ ②社会の形成者としての全人的な発達・成長の保障
- ・ ③安全安心な居場所・セーフティネットとしての身体的、精神的な健康の保障


(一斉授業か個別学習か、デジタルかアナログか、オンラインかオフラインかなど二項対立の陥穽に陥らない)



3-1一人ひとりを大切にする教育



- (1)命を大切に安全・安心な教育環境の維持
新型コロナウイルス感染予防と危機意識の醸成
- (2)生徒理解、教育的ニーズに応じた教育の充実
特別支援教育の視点と、多様性の尊重
- (3)生きる力を育てる、いじめや不登校等生徒指導の充実
SSWの活用と本市組織体制の維持と充実



3-2 深い学びの知性を育む教育

(1) 学びの視点を明確にした指導

根拠を明らかにして論理的に考え、伝える力の育成

(2) 学習の保障と深い学びを約束する教師の指導力の向上

ICT機器の活用と指導力の向上を保障する体制や研修

(3) 新しい教育(特にICT、英語教育)の方法や領域の充実

重点化して取り組むとともに実践の公開と検証



3-3 郷土を担う人づくりの教育

(1) 郷土を知り、関わりを育む学校教育

開かれた教育課程の充実、「市民科副読本」編集完成

(2) 公民館活動や地域活動、PTA活動等を充実させる支援

ボランティア活動の推進

(3) 地域を理解し、自分で災害に対応できる力を育む教育

地域特性を理解し、災害への対応力を育てる教育



4 三つの柱と6つの視点

1 一人ひとりを大切にする教育

⇒ 新型コロナ対応と多様性の尊重

2 学びに向かう力を育む教育

⇒ 学力の向上と、ICTの活用

3 郷土を担う人づくりの教育

⇒ ふるさと学習と災害への対応



5 目指す天童市の子供像

未来を描き、問いを立て 解決・創造する子供

・未来を描く＝郷土の誇りを持ちながら、将来の自分を想像、努力する

・問いを立てる＝課題や疑問、何が問題なのか等に向き合い、認識する

・解決・創造する＝問いの解決や創造に向って様々な手立てを講じる

